



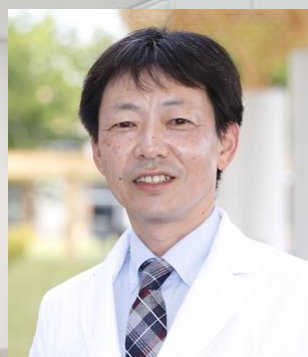
医学部研究者のご参加をお待ちしております。
セミナー終了後に研究者間の交流を目的とした懇親会を開催致します。

参加無料

対象：慶應/JSR研究者

JKiCセミナー 臨床検体の利用#4

肺がんの分子標的薬耐性を克服する橋渡し研究



金沢大学 がん進展制御研究所
腫瘍内科研究分野
教授 矢野 聖二 先生

肺がんの薬物療法は、免疫チェックポイント阻害薬とEGFR変異やALK融合遺伝子陽性症例に対する分子標的薬の臨床導入により大きな変革を遂げたが、耐性克服等の課題が山積している。我々は、EGFR変異肺がんのEGFRチロシンキナーゼ阻害薬(EGFR-TKI)に対する初期耐性や獲得耐性における肝細胞増殖因子(HGF)やAXLの関与を報告してきた。また、EGFR-TKI耐性の原因の一つであるBIM遺伝子多型に着目し、ヒストン脱アセチル化酵素阻害薬(ポリノスタット)がBIM蛋白発現を回復させ耐性を解除するという独自の基礎研究成果をもとに、BIM多型陽性EGFR変異肺がんを対象に、ポリノスタット+ゲフィチニブ併用療法の医師主導治験(第1相試験: VICTORY-J)を実施し、その安全性と第II相試験の推奨用量を決定した。本講演では、我々が行ってきた基礎研究から医師主導治験へ展開している活動の概要を紹介したい。

2019. 3.20 水

17:30～19:00 JKiC1階会議室

主催：JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター
共催：慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

お問合せ先：JKiC産学医連携部門 Mail: jki-info@adst.keio.ac.jp